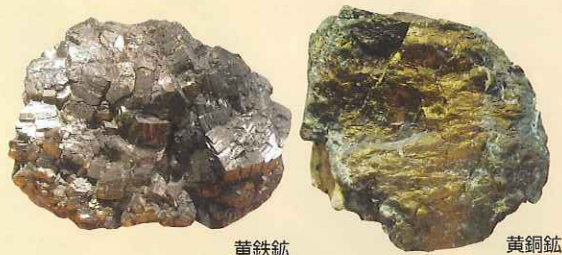


秋田県の主力産業であった鉱山

「秋田県の北部(北鹿地域)は、常に日本国内における各種金属の主要供給源となっておりました。特に銅の生産量は、50%以上を占めていたときもあり、秋田県の面積が全国の3%、そのうち北鹿地域の面積(600km²)が0.16%に過ぎないことを考慮すれば、秋田県(特に北鹿地域)が金属鉱物資源に恵まれ、国内産業に大きく貢献したことがわかります。

尾去沢で採掘された鉱石



黄鉄鉱

黄銅鉱

尾去沢の鉱脈のできかた

マグマから噴出した水蒸気は有用鉱物を多く含んでおります。水蒸気は地下の岩石の割れ目などを通して移動していきます。

水蒸気は周囲の岩石と反応したり、冷却されて液体となり地下の亀裂に沿って固まりました。これらを鉱脈と呼んでいます。

この鉱脈を浅熱水鉱床といい日本の主要な金属鉱床がこの型の鉱床です。代表的例として、尾去沢鉱山があります。



鹿角市鉱山歴史館

尾去沢鉱山で採掘された貴重な鉱石類、江戸時代の資料、坑道の模型などが展示されております。

周辺案内



康楽館

明治43年(1910)小坂鉱山関係者の福利厚生・娯楽施設として建設された芝居小屋は木造2階建。現存する中では、日本最古の芝居小屋です。

尾去沢鉱山から
30km
40分

国立公園十和田湖

風光明媚で知られる観光スポットで、我が国で第三番目に深い湖です。夏でも湖面温度が22度・湖底で5度を維持し、冬期も湖岸一部に氷が見られるぐらいでほとんど氷結しない不凍湖です。東西10km、南北8kmという大きさは東京都心の環状線である山手線がすっぽり入る大きさ。

尾去沢鉱山から
47km
75分



国立公園八幡平

岩手・秋田の県境に広がる平均標高1,400mの山岳一帯を総称して「八幡平(はちまんたい)と呼称します。狭義的な意味では重荷アスピーテ型火山台地の八幡平山頂付近を指します。アオモリドマツの樹林やミズバショウといった高原植物や湿原が独特の美しい風景を彩ります。山麓には八幡平温泉郷があります。

尾去沢鉱山から
45km
60分



あんたらあ(道の駅かつの)

花輪ばやしの屋台を展示しているほか、手作り体験館など鹿角をまるごと体験できる楽しみ満載のスポットです。

尾去沢鉱山から
4km
7分



あきたエコタウンセンター

秋田県北部で行われている様々なリサイクルの取組を紹介する施設です。パネルや模型を通して、リサイクルの意義を学ぶことができます。

尾去沢鉱山から
31km
42分

交通のご案内



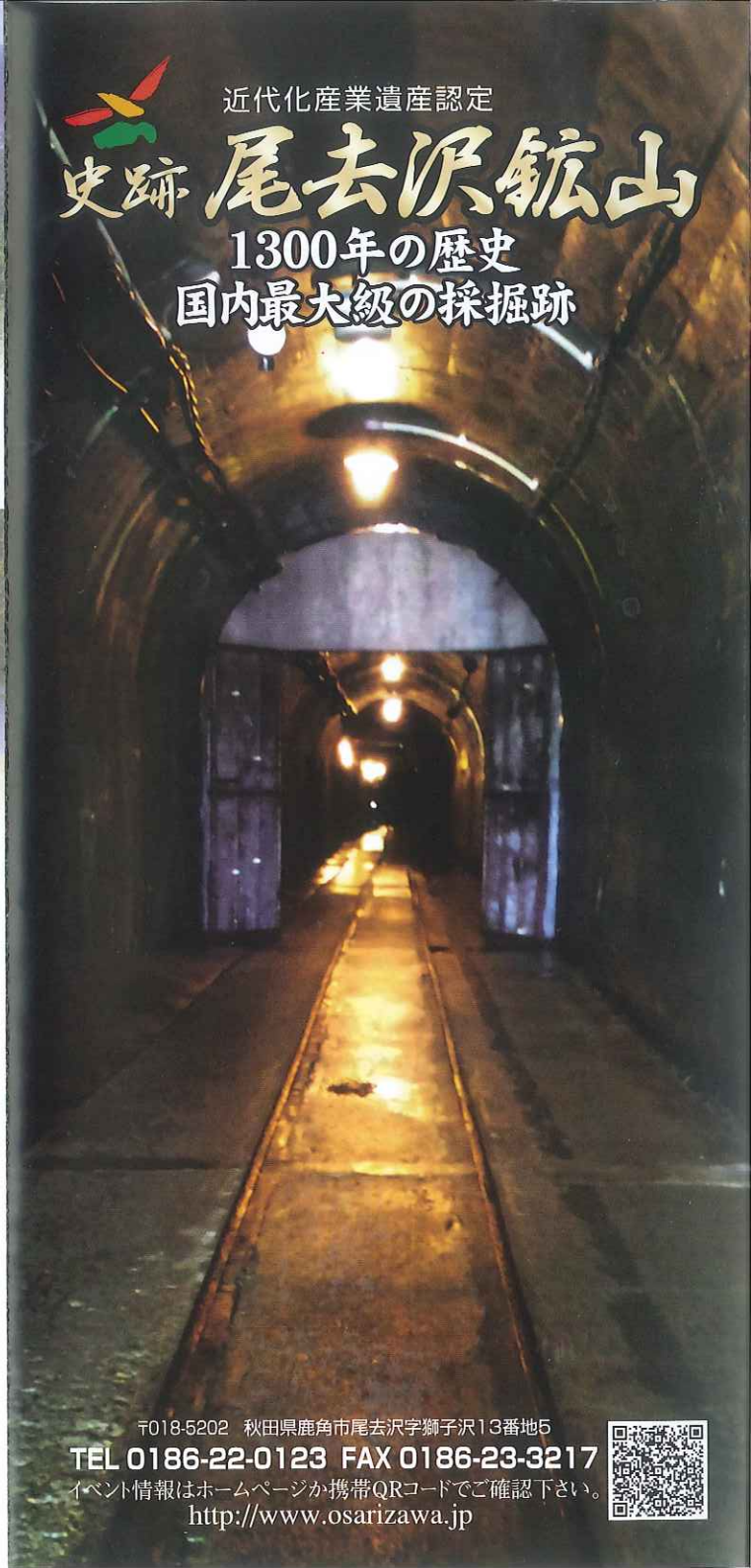
史跡尾去沢鉱山までの所要時間

(お車で)

- 鹿角八幡平ICから 約15分
- 大館能代空港から 約1時間
- 十和田湖から 約1時間15分
- 八幡平から 約1時間
- 田沢湖から 約1時間30分
- 盛岡から 約1時間15分
- 青森から 約1時間10分
- 八戸から 約1時間15分

史跡 尾去沢鉱山

1300年の歴史 国内最大級の採掘跡



〒018-5202 秋田県鹿角市尾去沢字獅子沢13番地5

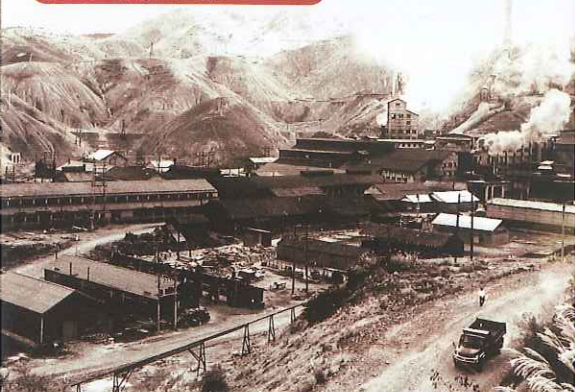
TEL 0186-22-0123 FAX 0186-23-3217

イベント情報はホームページか携帯QRコードでご確認下さい。

<http://www.osarizawa.jp>



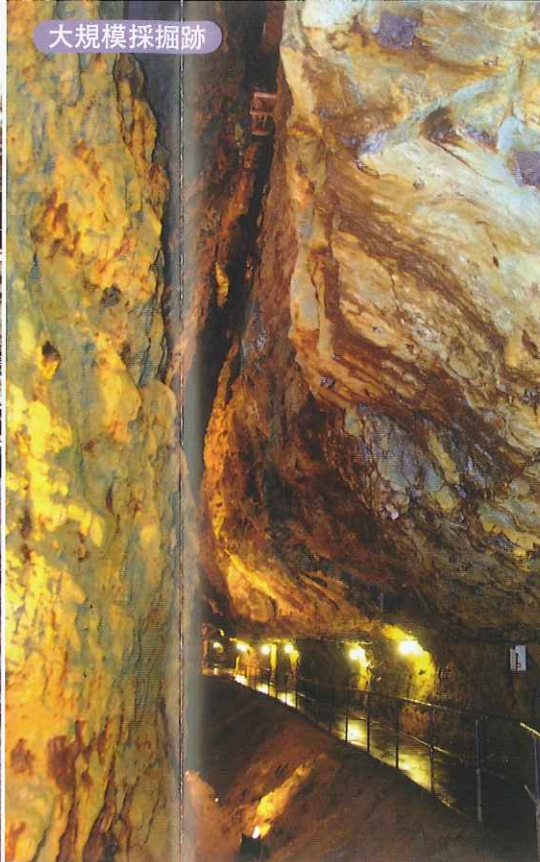
往時の鉱山全景 (昭和39年)



バッテリー電車 (昭和時代)



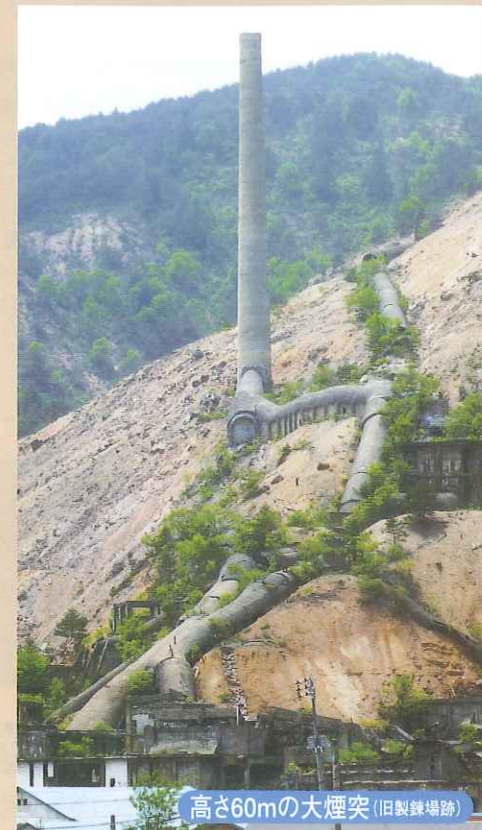
大規模採掘跡



金山奉行所 (江戸時代)



からめ場 (江戸時代)



高さ60mの大煙突 (旧製錬場跡)

日本最大規模の銅鉱脈群採掘跡が残る鉱山



鉱山ガイドと歩こう!

10名様以上事前予約の団体様には、ご希望により鉱山ガイドがご案内を致します。お気軽にお問い合わせ下さい。



尾去沢鉱山の800kmに及ぶ坑道のうち、1.7kmを整備した観光坑道では、壁面に露出した約900万年前の地殻の断層や、再現された採掘の作業風景をご覧になりながら産業発展の歴史にふれることができます。

尾去沢鉱山の歴史

- 和銅元年(708) 尾去沢鉱山が発見される。(伝説)
- 平安後期(1100~) 奥州藤原氏が平泉の黄金文化を築く。中等寺金色堂の建設に産金が使われたと言われる。
- 天正18年(1590) 盛岡南部氏の所領となる。
- 明治22年(1889) 岩崎家の稼業となる。
- 明治26年(1893) 三菱合資会社の経営となる。
- 明治29年(1896) 水力発電所の建設に伴い全山電化となる。
- 昭和18年(1943) 月産10万トン、従業員4,486名と最高を記録。
- 昭和53年(1978) 銅価格の低迷と鉱量の枯渇により閉山。
- 昭和57年(1982) 観光坑道として生まれ変わる。
- 平成19年(2007) 近代化産業遺産認定され、今日に至る。

体験のご案内



砂金採り 30分 700円・500円(中学生以下)
天然石掘り 20分 500円

施設のご案内



レストハウス250席(団体受入可) おみやげ館(各種鉱石コーナー)
車イス専用通路あり、定休日あり

営業時間		石切沢通洞坑 観覧料	
4/1~10/31		区分	個人
AM9:00~PM5:00(夏期)	11/1~3/31	大人	1,000円
		シニア(中高齢)	800円
		小学生	600円
		中学生(10名様以上)	900円
		小学生未満	540円

※冬期間は、石切沢通洞坑、おみやげ館、鉱山歴史館のみご利用出来ます。 ※小学生未満は無料となります。